

政策5 【住民協働・支援領域】 みんなの力で、自然を守り、安全で住みよいまちをつくります

担当部 住民環境部

政策が実現できたときの状態

強い絆で結ばれた地域コミュニティができること、そして、それぞれが豊かな自然と共生するまちづくりを目指して、自主的に、また協働によって課題解決に取り組み続ける状態を目指しています。

【みんな（地域で、生活する人、活動する団体すべて）が、自らの役割を理解して活動することで、より強い“みんなの力”になるものと考えます。】

- ・現在の秀峰岩手山を中心とする大自然と田園風景など素晴らしい生活環境が維持できていること。
- ・「滝沢市で生活する人すべてが、貴重な自然から有形無形の恩恵をたくさん受けていることを意識し続けること」、そして「未来に引き継いでいくという確かな意識を持ち続けること」、これらを意識しながら良好な環境の保全と創造への様々な取り組みが行われていること。
- ・みんなが「自分たちの地域は自分たちで守る」という安全に対する意識を持ち、“みんなの力”で安全なまちづくり、住みよいまちづくりを目指した活動が有り続けること。

平成 26 年度の重点課題

- ・各体系の目標指標については、達成済のものについては継続維持そして向上を目指し、未達成のものについては、達成に向け、より重点的に取り組みます。
- ・市制移行後も、地域コミュニティが醸成し、地域の活動がより充実するよう、協働の視点で支援します。また、窓口部門のサービス体制の見直しを行い、行政サービスの向上を図ります。
- ・住民活動の拠点である「交流拠点複合施設」の建設を推進し、平成 28 年度早期の開館を目指します。
- ・自主防災組織の全自治会設立が目前であり、早期設立と総合防災組織である自主防災連絡会の拡充を図ります。
- ・一般廃棄物処理における一部事務組合（ごみ：環境組合、し尿：衛生処理組合）との連携により環境行政を推進します。
- ・災害からの早期復興を引き続き支援します。

政策の達成（実現）に向けた今後 3 ヶ年の取り組みと方針

計画の最終年度であることから、「地域は、地域のみんでつくる」という総合計画の基本的な考え方を基に、住民自らによる地域活動の活発化に繋がるよう、地域経営の視点で政策実現へ向け、引き続き取り組みます。また、計画期間における検証を併せて行い、次期計画策定の基礎を模索します。

また、住民協働による新しいルールづくりに向けて取り組みます。

政策目標値の達成状況

